

19/9/14 名古屋城エレベーター問題の今とこれから
(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

近藤：共同代表

東日本大震災の年に車いすになった

いろんなところに出かけていく

名古屋城 エレベーターついていて中が見れた

建て替えて木造 観光資源にしよう

計画を打ち立てている

様々な問題 前に進まない？

公募型プロポーザル 要求書「バリアフリー」を

ユニバーサルデザイン

当初竹中工務店 技術提案書

エレベーターをつけられることも可能

小さい4人乗りエレベーター

2017年5月「バリアフリーや耐震白紙」

市長「ボランティアがおんぶすればよい」本気か？

2017年11月 名古屋城 エレベーターなし

チェアリフト 小さい椅子みたいなものが手すり

椅子に乗り換えないといけない

ストレッチャーなど乗れない人がでるのではないか

36メートル建物 チェアリフトで移動するとどれくらい時間がかかるか

とても現実的ではないのでは？

505億円かかる公共事業 市民全員が利用できるようにすべきでは

当たり前のこと

今の名古屋城にはエレベーターがある

そんなにエレベーターをつけるのがいけないことなのか？

「史実に忠実」昔のものを昔のようにつくるのは当たり前

疑問

楽しみにくくなる

平成30年4月24日 バリアフリー検討会議

庁内プロジェクトチーム検討体制 開催の形跡なし 資料・議事録不存在

2018年5月 エレベーターを設置しないことを正式決定

「梁や柱を切断したくない」

新技術12個

実用性があるものはこの社会にあるのか？

2回説明会があった

はしご車はバリアフリーに入るのか？

これから国際コンペ 大きな階段 名古屋城近くに建設中

インターネットで検索するといろいろな技術が出てくる

ドローン ドーバー海峡 ジェット機みたいなのでわたる

物としてはあるが実用性があるのか？

はしご車で入れるのか？ロボットが名古屋城の中を歩けるのか？

まだ見えぬ新技術 突き進む名古屋市にNOを言わざるを得ない

河村市長「昔のものを観れるのが本当のバリアフリー」

安倍首相「大阪城 エレベーターをつけたのは大きなミス」

河村市長「気持ちはよくわかる」

「実行委員会」様々な活動を行っている

愛知県知事から様々な助言をいただいた

新しく作るもの ユニバーサルデザインで作る

今あるものを壊して、と言っているわけではない

合理的配慮 最終手段 そうならないように持ち上げましょう

名古屋市 今年度4月から条例「共に生きるための障害者差別解消推進条例」

不特定多数が利用する建物 異なる不利益をしてはいけない

何のための法制度か？

「史実に忠実」ならすべて無視できるのか？

車いす、足腰弱い人は楽しめなくなる

「昔のように復元しないと」→障害者が社会参加しにくくなる

「城を復元しよう」全国にある

公共事業 私的な土地で自由に作るのなら何も言わない

「名古屋のシンボル」排除のシンボルになるのでは

エレベーターなしは福祉の後退につながる

名古屋で食い止めたい

辻：ありがとう

森本さんお願い

森本：観光文化交流局 名古屋城総合事務所

木造天守閣昇降技術開発等担当主幹

今年度からできた部署

行政としてどう対応するか

31年環境局にいた 技術担当

ゴミ、温暖化、生物多様性

工場の建設事業

拝命を受けた

着任早々多くの人にお会いした

学識経験者 かなり性懲りもなくお会いできた

時間いっぱい対話してきた

名古屋市の考え方

R 010820.21 審査基準作成のワークショップ配布資料

あくまでも自由参加型 障害者団体向けワークショップ

名古屋市の考え方

背景4ばつ目 バリアフリー化は重要

下ばつ 史実に忠実な復元とバリアフリー化を両立するために

英知を結集して臨むべき

3 ページ 公募の条件に出した要求書

ユニバーサルデザイン

河村市長とも確認

先ほど「史実に忠実」とは？

世界遺産などは※

5 ページの左上 全文が 13.14 ページ

昇降の方針

・現状よりも天守閣のすばらしさや眺望を楽しめることを保証する

5 ページ 1 2 種類 国際コンペ

昨年度エレベーターではない昇降調べた

エレベーターを超えるものは想定しにくい

国際コンペ 予算後にポストが決まった 事業を進めたい

9 ページ 期間を示している

2019年度公募開始

2020年度

8月29日市長コメント 竣工時期を延ばすことを発表

竣工が伸びる いつになるのか 現在の基本的に竹中工務店、

石垣部会としっかりと協議しないと

公募を配慮すべき

発表前に使っていた資料

4 部門 10 ページ

1. 歩行作業を補助する技術

2. 移乗を必要する昇降技術

3.移乗を必要としない昇降技術

4.地上から直接1階以上に入城可能な技術

木造5階建て 36メートル 鉄筋コンクリート12階建てに相当

全木造 昭和になってから作られたことがない

木造構造物 地震で揺れる

震度6 最上階2メートル振幅

シャフト式エレベーター あまり揺れない

ぶつかり合ってしまう

構造上は入らないことを考えたい

外付けエレベーターは名古屋市では景観を考えてつけないようにしたい

まずは往時の姿を見てもらいたい

3番 垂直昇降装置

建築基準法上エレベーターは広い意味がある

エレベーター技術 誰もが安心して乗れる技術

地下1階から5階まで突き通しは難しい

1階層ずつ上がることはどうだろうか

水平には移動できる

真剣に考えた結果

10ページから全体スケジュール

竣工時期不明 公募時期はペンディング

国防総省公募 誰にも見られたくない

審査基準の案 ワークショップで意見をいただいた

12ページ 実技評価

実物大階段

加対象項目 バリアフリー7つの基準

すべて掲げて願わくはクリアしてほしい

どう具体的に表現するのか

私からの一方的な説明は以上

10時45分再開

辻：たくさんいろいろ聞きたいことがあると思う

森本さんに集中するのでは？

森本さん答えられる範囲で答えてほしい

石田：大阪から来た

名古屋市の方が話される 面白そう

名古屋市の方が来られるのはすごいと思う

質問2つ 新技術説明会1回参加した

- ・近藤さん かご 二足歩行ロボット パワードスーツ
かご 宇宙技術開発 現実味がない
金毘羅さんの籠 左右に
名古屋城は上下
国際コンペ 無くなったのかと思っていた
新技術で応募があると思うが、現実味があるのはどれくらいあるのか
スタートレック 瞬間移動できるもの 失敗もある
- ・12ページ バリアフリー7つの基準
載っているのはすごい、うれしい
運べないことはないが、公共性がない
一般の人と対立する
車いす対応エスカレーター 車いす上がれるが、ほかの人は上がれない
今のエレベーター技術がある
7つの基準はどの程度尊重されるのか

森本：どんなもので現実味があるのか

名古屋城の階段 どれくらいか

バリアフリー実験のために実物大模型

木造天守閣 1階から2階

角度 駅は30度

名古屋城の角度 42.1度 踊り場46.1度

最高角度 3階から4階 48.4度

家でも存在する

松本城、彦根城 梯子のような階段イメージ

その中でもかなり緩やか

ふみずらと蹴上 往時のお城 一定ではない

攻めてくるときのバリア

きついものを実験装置 294mm

隅櫓でも存在する

現実味とすれば、できなければ保証ができない

自信を持って進めていきたい

あくまでも公募で臨むんだ 正解めいたものを書いてしまいそう

いい公募を進めたい

ある意味信じてもらいたい
7つの基準 その程度尊重するのか
だれでも乗れる がんばってみたい
加点対象項目 一つのクリアするための条件
点数が高い
怖い思いをしないで乗れる→人の主観による
チェアリフト 小さなお子さん 怖いという声を聴いている
感情が変わる
当事者である皆さんの声を聴いて

石田：蹴上がばらばら
これから再建するときは蹴上はばらばらか、一緒にするのか

森本：蹴上はそろっていて、最後の1段でどっこいしょ
今後は決まっていない
天守閣部会で決めていく

辻：次の方

磯部：「史実に忠実に」物理的な史実か、天守閣象徴か
街の象徴
内装は省かれていた
中身を再現するより、「象徴」と思えるようにしては

近藤：ありがとう
私が殿様で名古屋市のシンボルを作るなら、エレベーター付ける
今の市長 「史実に忠実」裁量は市長の頭の中だけにあるのでは？

森本：「史実に忠実」定義めいたものがない
現在の状況 昭和実測図、金城温故録、ガラス乾板写真
ここまで再現するに

会場：内部構造図はあるのか

森本：ある

会場：内部構造図はない

森本：失言失礼しました
不確定な部分を議論している
だんだんと収束していく

森：史実に忠実 昭和20年になにが起きたか

森本：焼夷弾による焼失

森：昭和34年に何が起きたか

森本：市民の寄付を集めて6億円で再建

森：今壊したら、上記の歴史が隠ぺいされてしまう

辻：史実に忠実
エレベーターつけない
スプリンクラーはどうか

森本：スプリンクラーはつける
文化財を保護する
保存整備する中で消火設備をつける
本丸御殿もついている

辻：照明は行燈ですか？

森本：ないと観覧できない
照明もつく予定

辻：戦のための要塞
広く開かれていなかった

森本：そういう言い方もできるのでしょう
観光のために入っていただくために必要
揚げ足取りのような議論

森：史実に忠実だが設備がいる

公共施設 税金で作る

安全設備

全国的なトレンドになる

「有名な建築者が作ったからバリアフリーいりません」

公共施設である

193件パブリックコメント 140件否定

外階段つけない

外階段 2方向避難路 安全設備 避難ができない

竹中の案からない

シェルター 人命にかかわる瑕疵がある

タラップ 付加設備 ずっとつけっぱなし 変わらない

設備として

外観復元 外は同じ

505億円かけて同じ

バリアフリー 避難路 導線を確保する意味

建築物として名古屋城は建たない

森本：避難計画はついて回る

竹中、名古屋城と協議を続けている

どのように避難するのか、滞留するか

くれぐれも登れるようにしたい 必須条件

辻：竹中 基本設計を出した

オンブズマンが情報公開請求したら墨塗りになった

中身がなんなのか？見ることができない

大きな不安を生んでいる

みんなに出したうえで議論できないのか

森本：のり弁はどうかしらと思いますが、

そこがまだ上手にいけないが、そんなのが来るなど言われそうだが、

ここをデザイン上の公表できないところ

できるかぎり公表すべき

答えにはなりませんが、オープンで行きたい

ここは、というのは議論したい

今年度も市民説明会がある
過去のことをほじくするのも難しい
言える範囲で

森：基本設計は森本さんは見ているの？

森本：関係する部分は見ている

辻：情報公開は大変重要
市の税金 見せられないのが大変重要
何ができるかわからないのが問題
市民に知らせるべき
文化庁とのやり取り「教えられません」

内田：2019年度公募開始
いつから始める予定だったのか
今はどう予定か

森本：公募 今年度早い段階で
8月29日延期に関するコメント
全体のスケジュールが見えてこない
これから竹中工務店・学識経験者と協議
かんがみて、拙速にスタートを切るのではなく
現在待機状態

辻：先になるということか

森本：時期についても情報待ち
バランスを持って検討する

会場：5階まではOK
この建物は5階建て以上の建物
緊急避難経路は確保しないといけない
出発時点に入っていないのは問題
建築基準法上通らない

森本：発注する際、建築基準法「除外規定」

文化財に適用される

3条適用ができなくなってしまう

発注の認定条件

森：3条を間違った解釈している

会場：文化財だから除外

過去にあったものが文化財

今から作るものを文化財というのは疑問

きわめて意図的なものを感じる

森：名古屋城は国宝だった

重要文化財 物を作れば復元

モノがないのに復元

建築基準法の除外規定 クリアできる わけではない

「特定行政庁が建築審査会の同意を得る」

法同等の安全性を確保する

竹中提案では法同等の安全性を確保できていない

森本：雰囲気が悪い

糾弾調ではなく、やがて収束しないと

今日議題 エレベーター問題 来させていただいた

私としては、天守ができたあかつきにはみんな楽しんで

国際コンペ

できれば、ここに持っていくための諸条件

できるのかという

森：糾弾するつもりはない

タウンミーティングでさんざんうそを言われてきた

独特な解釈

事業自体が止まっている

保存活用計画 パブリックコメント隠ぺいしている

いかに異常なものか

現在の天守 閉鎖されたとき涙を流した老人のことを考えていない

名古屋城はできない

コンペは無駄にならない

どのような人の心を踏みにじるものかはお意見いただきたい

会場：情報の公開

逐一何十件 一定程度情報を流していただきたい

考える素材を提供してほしい

市民からの浄財を集めるという声がある

情報を真っ黒けのものをだすのではなく、「こう考えている」

税金だけでなく、市民から金を集めようとするのだから

会場：近藤さんに聞きたい

閉鎖される前の名古屋城についてはどう思っていますか

近藤：歴史マニアではない

当然エレベーターがついていて中に入れるのが感動

5階から7階 エレベーターない

階段の前で待っている高齢者・車いすがいたのは事実

悲しい

最後の最後 ベビーカー 抱っこして上まで登っていく

人が多いとき 日常茶飯事だった

困る人は多かった

肩身の狭い人 多かった

外から入ってくる人

エレベーターのありがたみを感じていた

法同等の使いやすさ

十分とは思わない エレベーターが渋滞していた

時代に合った整備が必要

会場：明治村 昭和40年に建てられた

大正元年から55年

2億円の寄付 森永のキャラメル 10円 今100円

戦後復興のシンボルという声にはどう思うか

近藤：当然市民からの寄付で想いが詰まっている

みんなで力を合わせて

新しく建てたい、建てたくない 興味がない

バリアフリーの観点から取り組んでいく
日本全体の問題だと思っている

森本：現在 名古屋城の保存の考え方

昭和34年記録 データ録り 閲覧できるように

今日反省するところ これまでの流れ

この4月 ここにいたるまで障害者団体とお話をし
学識先生から話をした

最初は話してもらえなかった 今は胸襟を開いて

国際コンペ 現存するお城の歴史

念頭にいれないと

公僕として職務にまい進したい

2万人署名拝見した

「協議をなささい」

多くの人に参加

反省すべき点

ここから

エレベーターつけない 行きつ戻りつ

決して名古屋市が公務員として逆なでするようなことをしたいわけではない

話をすべき

かゆいところに手が届きたい

こういう機会をつくって対話をしたい

混沌とした状況だが、一緒に英知を結集したい

辻：ゆるせないこと

2年前鯉城ホール河村市長

車いす小学生女の子「ごめんね エレベーターつくれんのだわ」

人権問題 市長自ら言う

ゆるせないこと

森本さんはすごく誠実

現場の人はいい人

上が無茶苦茶なことを言う

障害のある人もない人も住みやすい世の中を